HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地　さわやか交流郷

7

No.437／2003

広報しべつ

「300人でヤチダモ2千本植樹」

6月4日、ポー川上流の町有地で行われた町植樹祭。町と根釧東部森林管理署、森林組合の主催。今年から川北中学校の生徒も新たに加わり、合わせて約300人が参加。スコップやくわを手に、40㌢ほどのヤチダモの苗木2千本を1本1本丁寧に植樹。ヤチダモは50年ほどで30㍍にも育つそうで、参加者は「早く大きく育ってほしいね」などと話し、額の汗をぬぐっていました。

主な記事

◆〈特集〉座談会
楽しもうよ！「水・キラリ」

〈特集〉座談会

楽しもうよ！「水・キラリ」

皆さんは、「キラリ社中」をご存知でしょうか―。

標津町民祭り「水・キラリ」を、より魅力的なものにしようと昨年五月に発足した町民組織です。

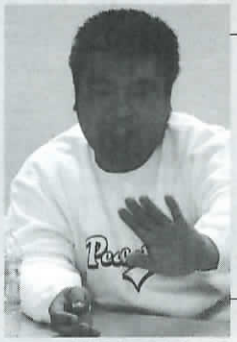
今年で五回目を迎える「水・キラリ」の開催まであと一カ月。そこで、「キラリ社中」を代表して五人の方々に集まっていただき、祭りへの意気込みや思いなどを語ってもらいました。

出席者

安達永補さん（酪農業）

浜尾己恵子さん（主婦）

青木敏則さん（役場勤務）



遠藤幸一さん（建設会社勤務）

合田泰之さん（商店勤務）

――さっそくですが、「キラリ社中」の現在までの活動状況は。

青木　昨年五月に発足以来、五回の会議を開催しています。そのほかに、①「伝承部会」②「踊り・お囃子普及部会」③「水研究部会」④「祭りグッズ研究部会」の四つの部会に分かれ、祭りの課題・研究などに取り組んでいます。

――これまでの「水・キラリ」を振り返っての感想は。

「キラリ社中」のことを知ってほしい

安達　祭りの雰囲気として、部分的な盛り上がりはすごいけれど、全体ではどうかなという気がしましたね。また、見に来てくれる人と一緒に祭りを進めていくためにはどうしたらいいのかなと思いました。

まだまだ、行政がメインで進めているイメージが強く、町民一人ひとりがもっと祭りに関わっていければいいのになあと思います。また、「キラリ社中」のことが、もっと町民に知られるように頑張っていきたいですね。

浜尾　「キラリ社中」ができたばかりのときは、「その人たちにまかせとけばいい」と言った人がいて、正直言って「がくっ」ときました。このままでいいのかと。「水・キラリ」は町民がやっていくんだということを、まだまだ理解されているわけではないし、理解してもらわないといけないんだろうなと思います。

青木　標津地区の参加者は、漁協青年部か役場とかの一部の人で、標津地区の一人として引け目を感じてしまう。標津地区の人にも「水守衆」や「キラリ社中」に参加してほしい。どうやって参加してもらうかが課題ですね。

遠藤　自分は初代「標太」役。初代ということで不安はものすごくありました。特に儀式が緊張しましたが、あとの曳山（ひきやま）巡行などでは、本当に祭りを楽しみましたよ。以来、自分は祭りではずっと着ぐるみを着て踊っているんですけれど（笑）。

今は祭りを継続していくことが大事

合田　自分は最初から「儀式」に携わってきました。これまでの形が最も良い形なのか、今の段階では答えは出せませんが、それなりに続いてきたので、これはこれでいいのかなあと。今は祭りを継続していくことが大事だと思ってます。水に対しての感謝の気持ちでやっています。

祭りの準備や片付けは大変だ

祭りへの意気込みなどが熱く語られた座談会（6月20日、「あすぱる」）

「キラリ社中」とは…

「水・キラリ」が、地域に根づいた郷土の誇れる伝統文化として永続的に開催していくため、年間を通した祭りの普及活動、町民が「心寄せ合う」場として愛着の持てる祭りづくりに貢献することを目的に昨年五月に発足。祭り実行委員会のメンバーが、個人の立場で発足を呼び掛けた町民組織。代表は同実行委員会・運営委員長の吉田智さん。会員は現在百八人。名称は「標津町民祭り　キラリ社中」。通称「キラリ社中」。

主な活動は、①年間を通した水へのこだわりなどの検討活動②祭りの先進地での研修③祭りの魅力づくり、研究活動④祭りの発展と継続に向けた後継者の育成⑤祭りの運営などへの積極的な参加など。町民の声を反映させ、町民の立場で祭りに対し、助言・協力していきます。

けど、お祭りなので楽しんでもらいたいですね。やらされているのではなく、役割分担をしっかりとして、みんなが楽しめるように、苦しみだけでなく楽しめる方向に行ければ。

――斜里町の「ねぷた祭り」に視察に行ったと聞きましたが。

合田　今年の二月に視察してきました。祭りを直接見たわけではありませんが、「ねぷた一家」という祭りに参加している団体にお邪魔して祭りの歴史や心意気などの話を伺ってきました。

斜里町では、だれがというよりも、とにかく祭り好きな人が集まって、ねぷた・歌・衣装・踊り、それぞれ自分たちで作ってやっている。そういう団体がいくつも集まって祭りをつくっているんです。町からの助成はないけれど、実行はほとんどが町民によるものです。

浜尾　斜里町の祭りの様子をビデオで見せてもらいましたが、一人ひとりまったく違う格好で踊っているんです。標津でも、無理に全部そろえないで、全員違う格好でもいいんじゃないかと思いました。

青木　「ねぷた一家」の人たちの話を聞くと、まず自分たちが一番楽しんでいる。その楽しんでいるのを見て、観客も楽しいと思うんです。それが一番のポイントかなと。

合田　何カ月も前からの準備も全部楽しんでいるんです。子供も大人もみんな一緒になって。

遠藤　太鼓を叩いている人は「叩きたくてしょうがない。だれにも叩かせたくない。俺の太鼓が一番だ！」っていう感じ。自分たちが自信を持ってやっている。勢いがすごいなあと。

「一日も早く祭りが来い！」

浜尾　一日も早く祭りが来いという感じ。斜里町では、みんなでお金を出して、最初は五つの団体から始まって今の二十数団体になっている。やっぱり「祭りバカ」がいなきゃだめなんだよね（笑）。

青木　学校の先生の中にも「祭りバカ」がいて、学校の中での子供どもたちに対する取り組み方が違うんだと思いますよ。

――斜里町の祭りは今年で二十一回目。その道のりは大変だったんでしょうね。

斜里のねぷた祭りも軌道に乗るまで10年…

合田　軌道に乗るまで十年以上かかったそうです。踊りも半纏も太鼓も、最初は揃っていなかったけども、徐々に揃えていったと聞きました。斜里町は何も無いとこから始めているんです。

浜尾　「人数の多い少ないは考えないでいい」「好きな人がやればいい」と。斜里町は、いかに祭りをやりたい人がやっているかということでしょうか。

合田　「ねぷた」は青森から北海道へ移り住んでいった開拓者の慰霊祭が最初にあります。標津は、まず「水に感謝する」ということが最初ですね。

――斜里町の話を聞いて「水・キラリ」について考えたことは。

合田　まだまだこれからが大変。今はお金があるからそんなに大変でないけど、お金がなく

なってからが大変。

浜尾　むしろお金が無くなった方が盛り上がるんじゃないかと思うけれど。今は、町がお金を出してくれているという安易な気持ちがあるんじゃないのかな。

――町の財政が厳しい中、祭りへの批判も聞かれますが。

合田　「水・キラリ」は、最初は「水への感謝」ということで始まっているんです。水への感謝の気持ちがあれば。山にお供えして、水に感謝して、人が集まって山車を引いて、祭りが盛り上がっていければお金は要らないんじゃないかと。「お金を使い過ぎだ！」とみんな思っています。全員に弁当を出し、道具も用意してくれる、それでは祭りは続かない。我々で話していても、踊るのにお金は要らない。好きなやつで山車を引っ張ろうやと。そういう話になるんですよ。

浜尾　なぜ、高いお金を出して芸能人を呼ぶのかと。カラオケをセットして地元に人に出てもらえばいいんじゃないかなあ。

――そういった考えもありますよね。

祭りへの批判は内容ではなく「お金」…

合田　曳山巡行で山車を引っ張って、汗かいている人は文句は言わないですよ。祭りの内容に文句は出ない。批判を聞くのは「お金」について。一千六百万円(第四回の決算額で)もの予算での祭りはちょっと違うと思いますよね。

青木　祭りに批判的な人たちは、なかなか直接言ってくれないですよね。批判してくれている人たちと、いろいろとざっくばらんに話したいんですけどね。

合田　できるだけグッズなどの売上で収入を賄っていきたいと考えています。また、真似をするわけではないけど、歴史のある他の祭りを見に行くと、重みだとか雰囲気とかいろいろ勉強になるんで、視察については、お金は必要だと思います。

――日中のイベントも充実させたいそうですが。

「川下り」のイベントはどうか

青木　この祭りは「水」がテーマ。日中は観光祭りになってしまっているので、水を中心としたイベントをもっと増やしたいと考えています。実際に川を下る「川下り」のイベントなどやってみたいなと。

合田　儀式の一環として川を下るのも面白いですよね。

安達　水のお祭りだから、水の踊りや水鉄砲を使った水合戦とか、もっともっと水を前面に出していった方がいいと思います。

浜尾　そういうことを、町民の皆さんから募集してやっていければいいんだけどね。

――「キラリ社中」の役割りの中に「住民の声を反映させながら魅力ある祭りを」ということがありますが。

合田　意見があれば何でも聞いていきたい。我々も町民ですし。一緒にやっていきたいですね。

青木　我々もだんだん顔が売れてきて（笑）「キラリ社中」に対して、何かと話し掛けてくれている人が増えていますよ。

――「キラリ音頭」の踊りを、ある学校では体育祭などで取り入れていると聞きますが。

合田　川北ではキラリ音頭を運動会で踊っています。

浜尾　子供たちはそういうの好きですよ。音頭の歌が好きなのかな。みんな「キラリやろう、キラリやろう」と言っているし。

青木　小さいうちから関わっていくと違ってくると思う。

合田　子供のうちから歌や踊り

「劇団キラリ」出演者紹介

▷井上紗紀(古多糠小４年)　▷大沼彩美(同)　▷竹村美咲(同)　▷猪股佳季(標津小４年)　▷住田彩由里(同５年)　▷松井寿亨(同六年)　▷猪股諒(同)　▷荒谷詩織(標津中１年)　▷猪股仁哉(同２年)　＝敬称略(※子供のみ紹介)

第５代標太津々にインタビュー

（大地みらい信用金庫勤務）
大山ゆかりさん

阿部　春男さん
（標津印刷㈱勤務）

祭り本番に向けて…

思いっきり楽しみたい

大山　本番が近づき、正直言って少し緊張してきました。祭りを思いっきり楽しみたいです。多くの人が参加して、一緒に祭りを楽しんでほしいですね。

祭りを盛り上げたい

阿部　本番では、標太役をしっかりと務め、できるだけ祭りを盛り上げたいです。二日間、一生懸命頑張ります。山車に上がるのが今から楽しみです。

をやっている人間がこれから大きくなってくる。そうなると祭りへの意気込みも変わってくるんじゃないのかな。「標太・津々」の選考も、最近はやりたいと言ってくれる人が多くて、最後には投票になっています。

遠藤 なかなか手は上げないんだけど、やりたがっている人は多いよね。

浜尾 毎年二人しか選ばれないんだし、一生で一回しかやれない。成人式の時は新聞にも出るし、かなり名誉なことだと思いますよ。

——五回目の祭りが、一カ月後に迫ってきました。「キラリ社中」としての意気込みは。

常に進化していく祭りに

安達 常に進化していきたい。四回目より五回目、五回目より六回目というふうに。とにかく騒ぐ。それも進化。「自分が楽しく」って、みんながそう思ってやってくれればいいんじゃないですか。

浜尾 「去年より楽しかったね」って、一人でも多くの人に言ってもらえればうれしいかな。

青木 日本各地に伝統の祭りがあって、もっと厳しい中で祭りを守り続けてきた人たちがいたと思うんだけど、原点に立って、ちょっとしたアレンジをつけながら進化していきたい。いかにその場を楽しむか。みんなに「踊りませんか？」と声をかけながらやっていきたい。

遠藤 やっぱり自分が楽しむことかな。自分が楽しくないと他の人も楽しくない。今年も「水・キラリ」を楽しみたいなと。

合田 「儀式」を継続していきたいですね。皆さんにお願いしたいことは「一緒にやろうよ」。そして楽しんでもらって、少しずつ輪が広がっていければ。いっぺんには無理だけど少しずつ。

——最後に町民の皆さんに一言。

「水・キラリ」は町民のお祭り

合田 祭りについて勉強しながら今後も頑張っていきたい。祭りが好きな人に仲間になってほしい。水・キラリは「町民のためのお祭り」ではなくて「町民のお祭り」なんですよ。何人見物客が来たかとかは関係ない。我々が楽しめればいいんですよ。

浜尾 そして見てる人が一緒に入ってきて、飛び入りで参加してくれればもっとうれしいね。

遠藤 自分たちが観客を積極的に入れていく。一回入っちゃえばいいんだけど、入るまでが問題。最終的には「どこどこの団体に行って踊りたい」となればいいんだけどね。踊りを各団体で一つ一つ変えていっていけばいいんだろうけどね。

安達 浴衣を膝丈ぐらいまで短く切るとか（笑）。

青木 「キラリ社中」の専門部会で、祭りグッズの課題はどれだけ目立てるかということも考えているんですが。

遠藤 祭りに出ているやつは、みんな目立ちたいやつばかり。だから俺は着ぐるみを着てるんだし（笑）。友達に「見にこい」と言って、見に来たら踊りに参加させている。見てるよりは参加した方が楽しいって分かると思うし、見ているだけじゃ分からない。参加しないと。

——毎年、祭りを迎えると町民の気持ちが一つになるような気がします。今はいろいろな面で厳しい時代。だからこそ、この祭りを通して町民一人ひとりが結束し、まちづくりに果敢にチャレンジしていかなければなりません。キラリ社中の今後のますますのご活躍を期待しています。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

※このほかにもいろいろと語ってもらいましたが、紙面の都合で割愛させていただきました。

人が輝き 標津（ふるさと）が燃える

今年も「水・キラリ」がやってくる！

8/2（土）3（日）

山雨決行

- ■サーモンパーク
- ■ウラップ川源流・標津川
- ■標津市街

2　日

第1部　儀式・前夜祭

- ・「儀式」奉納・授水の儀　午前10時～（ウラップ川源流水取り）
- ・舞台芸能披露　午後4時～
- ・標津グルメ屋台村（地場産品味覚市）
- ・伝承劇「ウラップ伝説」披露
- ・「儀式」運水・迎水・分水・入魂の儀
- ・子供ビデオシアター・フェイス＆ボディペインティングコーナー
- ・ラッキー抽選会

賞品総額／50万円相当
特　賞／標津料飲店組合飲食券20万円分
準特賞／温泉招待10名分
他豪華景品多数！

3　日

第2部 産業と食・遊び文化の伝承祭

- ・舞台芸能披露　午前10時～午後4時
- ・標津国際水中バレーボール大会
- ・デイリーフエスティバル牛肉大食会・地場水産物味覚市
- ・キラリ!!ソーラン踊り管内チーム競演
- ・源流流しソーメン
- ・子供フイッシングコーナー（やまめ釣り）
- ・子供ビデオシアター（アニメーション）
- ・フェイス＆ボディペインティングコーナー
- ・キラリ子供ランド・名水野点・模擬店出店

第3部　曳山巡行

（キラリ踊りと勇壮な山車の運行）

- ・曳山巡行　午後7時30分～
  - 【総ながし】（標津市街～サーモンパーク）
  - 【総 踊 り】（サーモンパーク会場）
- ・模擬店出店（サーモンパーク会場）
- ・花火打上スターマインワイドほか

●お問い合わせ／標津町民祭り「水・キラリ」実行委員会 ☎2―2131

初の全道大会出場

バレーボール少年団

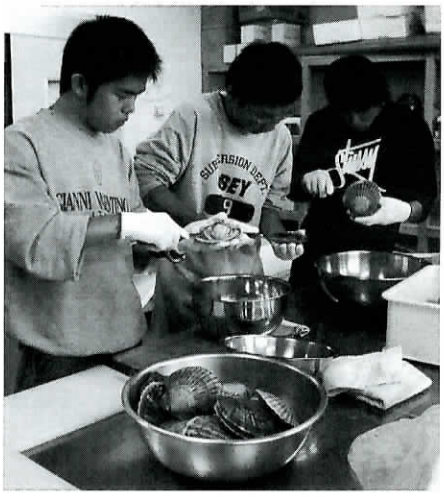
「標津川北スマイル」

川北小学校のバレーボール少年団「標津川北スマイル」が、五月二十五日に別海町で開かれた「ペプシカップ第二十三回全日本バレーボール小学生大会根室管内予選大会」で準優勝し、町内の小学生チームとして初の全道大会出場を決めました。

予選大会には、一市四町から十六チームが出場。同チームは決勝で強豪の中標津町立丸山小の丸山ファイターズと対戦。セットカウント〇対二で敗れたものの、準優勝で見事全道大会への出場を決めました。

全道大会は、六月二十八、二十九日の両日に富良野市で開催。大会に先立ち、六月二十三日に選手たちが役場を訪れ（写真）、キャプテンの合田明寿美さんは、「全道大会では努力したことを十分に出し切り、最後まであきらめずに優勝目指して頑張りたい」、と、顧問の原中隆志教諭は、「心を一つに、勝利に向けて頑張ってきたい」と意欲を燃やしています。

本州の修学旅行生がホタテむきに初挑戦!!



六月十七日から二十日の四日間の日程で、滋賀県の二つの高校が修学旅行で約四百五十人が本町を訪れました。

一昨年から体験型観光による修学旅行の誘致を進めているエコ・ツーリズム交流推進協議会が受け入れているもの。

今回訪れた修学旅行生の一つの伊吹高校の生徒たちは、ホタテの貝むきや芋もちづくり、流木アートなど六つに分かれて体験。このうちホタテの貝むきを体験した生徒は、「ホタテの貝むきは生まれて初めて。滋賀県では貝付きの生のホタテはなかなか目にすることはありません。本場の標津でこのような貴重な体験ができてとても楽しかった」と話していました。

今年度の修学旅行受け入れは今回で三校目。同協議会では、今後も京都府の小学生や東京都の中学生の修学旅行などを受け入れる予定です。

宿泊施設の〝もてなし度〟診断

宿泊施設でのもてなしのレベルアップを図る「標津もてなしステップアップ100推進委員会」（吉田初子代表）では、五月二十八、二十九日の日程で、今年三月に作成した宿泊客をもてなす際のチェックマニュアル百項目について、各項目が達成されているか診断を行いました。

診断を受けたのは七施設。マニュアルの原案を作成した「体験教育企画」（東京都）の藤沢安良代表が宿泊施設を回り、「トイレや洗面所の故障はないか」や「接客する従業員に笑顔があるか」などの各項目をチェック。この結果、診断を受けたすべての施設が合格し、認定証が手渡されました。

診断を受けた旅館では、「普段見落としてしまう部分でも、項目として文書化されているので、実践できるようになった」と話しています。

はまなす苑で手打ちそば振る舞う

五月二十八日、標津手打ちそば愛好会が特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」で、入所しているお年寄り五十人に出来たてのそばを振る舞いました。

愛好会では「せっかく練習を積んでいるのだから、お年寄りに味わって食べていただき喜んでもらいたい」と、昨年に引き続き実施。

お年寄りからは、「腰があっておいしいね」と好評でした。

「オーチンハラショー！」

北方四島在住のロシア人ファミリービザなし訪問団（二十五人）が、六月十三日から十六日の日程で本町を訪れました。

一行は、サーモンパークやポー川史跡自然公園などを見学。千島連盟標津支部（北方四島元居住者で構成）の会員など住民との対話交流を行いました。

また、あすぱるでは、手打ちそば愛好会の指導のもと、そば打ちに初挑戦（写真）。「オーチンハラショー」（とても楽しい）と訪問団一行は興味を示し、日本の食文化にもふれました。

頑張っている標津消防団員

道消防協会から表彰／管内団員技能訓練大会で優勝

六月七日、恵庭市で開かれた第五十五回北海道消防大会で標津消防団が、(財)北海道消防協会から表彰されました。

この表彰は、消防団の技能や日ごろの啓発活動などが評価されたもので、大会では表彰状と深紅の旗（写真）が同消防協会会長から手渡されました。全道では五消防団が受賞し、根室管内では同消防団のみの受賞。

六月十日には、山本司団長が役場を訪れ、小田桐町長に受賞の報告を行いました。

さらに六月二十二日には、根室管内消防団員技能競技訓練大会が中標津消防署で開かれ、同消防団が見事優勝（九年ぶり）しました。

大会には管内の消防団、約三百十人が参加。ホース巻きリレーや小型ポンプ操法など四種目で対抗戦を行いました。

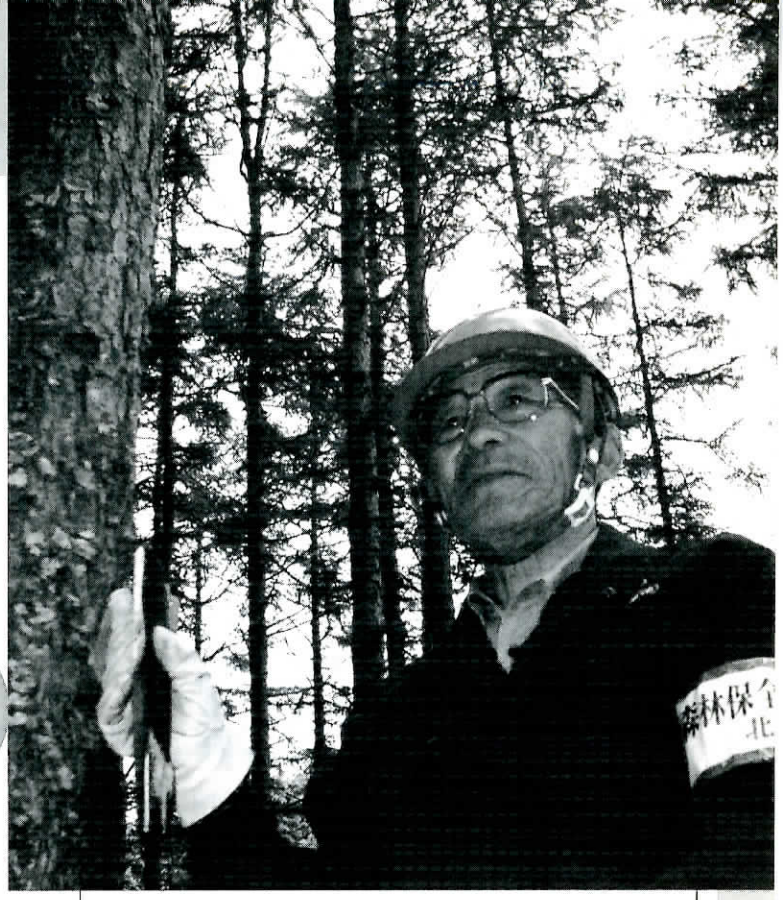
同消防団は、日ごろの訓練の成果を見事に本番で発揮。山本司団長は「日ごろの団員の訓練の結果のたまもの。これからも団員一丸となり、町民の生命と財産を守るため努力していきたい」と話しています。

山本さん所有の「菊宝」最高位に

町馬産振興同志会、町、ＪＡ標津の主催による第22回町種馬共進会が5月31日、農協椴山家畜消流ターミナルで開かれ、39頭の種馬が体型の良さなどを競い合いました。

審査の結果、最高位賞には山本義博さん（東茶志骨）所有の「菊宝」、準最高位賞には山本信達さん（同）所有の「直菊」が選ばれました。

また、会場ではポニーの乗馬イベントも開かれました。



今井 忠一さん（北3西3）

CHUICHI IMAI

ヒト・ラ・シ vol. 14

「森林は信頼できる良き〝友達〟なんです」

「山菜取りで入林する際には、タバコの火の取り扱いに十分気をつけてほしい。山火事による森林被害が一番心配ですから」。昭和五十五年から現在まで、二十三年間にわたり森林パトロールの巡視指導員として活躍している今井さん(81歳)は話します。

この指導員は、道からの委嘱。道・町有林などの保安林の保全を目的にパトロールし、入林者への山火事注意の啓発や風水害、病虫などによる森林災害の早期発見に努め、適切な措置を行うなど重要な役割りを果たしています。

「一昨年には、町有保安林内の樹齢二十五年から三十年の樹高四㍍ほどのストローブ(トドマツの一種)約二百本が強風で倒れていたんです。そこには苗木を数年前に植えたばかり。そのまま倒木を放って置くと、苗木が死んでしまうところでした」。森林保全に努める今井さんは、真剣な眼差しで話します。

今井さんの職業は造林業。林業一筋の今井さんは、森林を「信頼できる良き友達」と言います。「森林は二酸化炭素を吸収して、きれいな空気を与えてくれます。健康で長生きできるのも森林のおかげ。森林には感謝の気持ちでいっぱいです」

「東南アジアや南米などでの大規模な森林火災をテレビで目にすると、がっかりします。木がかわいそう…。何とかできないものか」。今井さんは、やりきれない表情で話します。

「これからも自分で歩けるうちは、指導員として森林保全のために貢献していきたい」。パトロールをする今井さんの目は、何か森林に「元気かー」と語りかけているように映りました。

楽しんでいます。わたしたちのサークル vol. 3

「イーゼル会」（油絵）

結成八年目の油絵サークル「イーゼル会」。会員は五人。

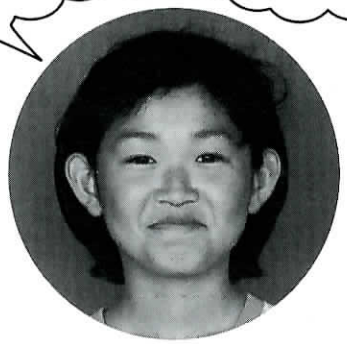
毎週火曜日の午後六時から九時四十五分まで、川北生涯学習センターで活動。元町生涯学習センター主幹で、数々の個展などを開催している清水克美先生に毎月二回指導してもらっています。

活動内容は、川北地区の文化祭や釧美展（釧路美術協会）の作品を出展しているほか、北の大地展（十勝管内中札内村で二年に一度開催）、道展にも出品。年一回、一泊の写生会も行っています。

「釧美展や北の大地展では入選もしてるんですよ。会員みんな和気あいあいと楽しみながら活動しています。年をとってからでも楽しめます。皆さんもぜひ油絵を楽しんでみませんか」と熊谷代表は話しています。

●入会の申し込み・問い合わせは、熊谷美津江さん（☎5―2027）まで。

My Dream vol.15 わ・た・し・の・夢



加藤稚菜さん
(川北小 6年)

「すてきな美容師に…。」

私は、将来大きくなったら美容師になりたいです。なんでかというと、人のかみの毛とか自分のかみの毛をしばったりするのが大好きだからです。

でも理由はそれだけではありません。メイクも少しやってみたいからです。たまに私は自分で顔にメイクをしています。でも、あんまりうまくいかないのでそんなのもれんしゅうしてうまくなっていってお店をひらきたいと思います。「きれいになりたい」人もいるから女の人のためにそんなお店をひらきたいとおもう。

そのお店の中は、まっしろで上にはキンピカゴールドでんきがあっていすは、くろいのがきれいだなーと思いました。外のほうは、レンガつみでかんばんは、くろくて金色の文字でお店のなまえをかざりたいです。そして中にはリボンとか、かわいいものもうっているかわいくて外国ふうなお店をもちたいです。そんなふうなきれいなお店と役に立つ仕事をしたいと思いました。

これからもそんな仕事をするためにいろいろべんきょうしていってお店をたてたいなぁと思いました。

●このコーナーは、子供たちの将来の夢を小学校ごとにリレー方式で紹介します。

達者なじいちゃんばあちゃん vol.15 Ji-chan Ba-chan

「人とのつながり大事にしたい」

大角ミヨさん
(薫別・81歳)

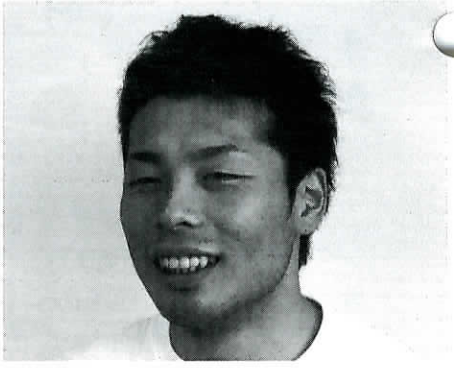
「教育委員や婦人団体連絡協議会などの活動を通じていろいろな勉強でき、たくさんの方との出会えたことを誇りとしています」と話す大角さん。

現在でも高齢者文芸誌「樹木」の編集委員や消費者協議会の会員として活動。また、和裁や小物作りのほか、日記も三十年以上も続けているなど趣味も多彩で、「今はボケ防止として続けています」と笑います。

「地域の皆さんからいろいろ声をかけていただいて、いい人生を送っています。これからも人とのつながりを大事にしながら過ごしていきたいですね」

若さでアタック YOUNG MAN/WOMAN

「ふれあい大切に地域に溶け込みたい」



大場靖幸さん
(川北・22歳)

「農業が好きで、農業を通じて地域や人の役に立つ仕事がしたかったんですよ」と話す、今年四月から標津町農協に勤務している大場さん。

趣味はバイクとスポーツ。出身の釧路市では、小学校からアイスホッケー部に所属し、高校、大学では全国大会に出場した経験も。現在は、職場の野球チームに所属し、チームメイトと交流を深めています。

「早く仕事を覚えて、組合員に好かれるようになりたい。また、農家の方とのふれあいを大切にしていきながら、地域に溶け込めるよう心がけていきたいですね」

みんなの広場

このコーナーは、読者のページです。
あなたの声をお寄せください。

バス待合所にいたずらが…

Q 旧ＪＲ川北駅跡地前にある、バス待合所のトイレのドアに大きな穴が開いています。だれかがいたずらでやったものと思うのですが、非常に残念でなりません…。

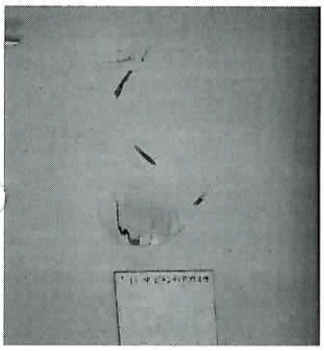
A このことについては、住民の方から連絡があり、担当職員が状況を確認しました。

写真（左）のとおり、トイレのドア２枚に数カ所穴が開いており、おそらくはだれかがいたずらで壊したものと思われます。

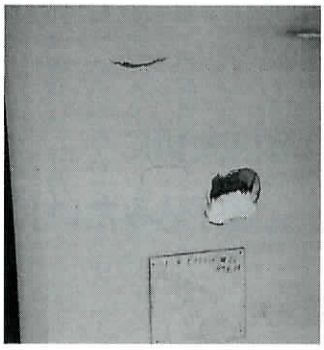
川北バス待合所では、平成十一年にも、トイレのドアに穴が開けられ、その時は、川北中学校生徒の皆さんがボランティアで修繕してくれました。また、昨年十月にも、入口にある電灯が、石のようなもので割られており、そのときは業者の方に修繕をお願いしています。

今回のドアの修繕ついては、役場職員の手でベニヤ板を張るなどして対応したいと考えています。

公共物は町民皆さんの大切な財産です。このような悪質な行為は許すことはできません。絶対に止めましょう。なお、警察では今後、巡回を強化し、悪質ないたずら防止に努めることとしています。



いたずらされたトイレのドア



◇

「みんなの広場」は、読者のページです。町へのご意見・ご質問などをお寄せください。

▽あて先
〒０８６―１６３２
標津町北二条西一丁目一番三号
標津町役場・企画振興課
「みんなの広場」まで。

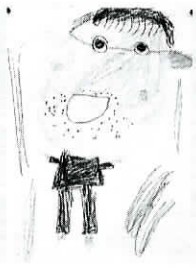
作品紹介

川北生涯学習センターに展示された「父の日似顔絵展」の中から作品を紹介します。

＝敬称略＝

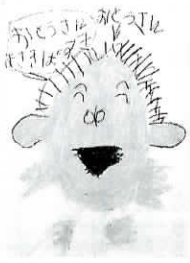
吉田尚稀（よしだ なおき）
（４歳・北標津ひまわり保育園）

渡邉優衣（わたなべ ゆい）
（４歳・古多糠こばと保育園）



大沼美里（おおぬま みさと）
（古多糠小１年）

原中美帆（はらなか みほ）
（５歳・川北幼稚園）



笹森正樹（ささもり まさき）
（５歳・川北幼稚園）

安田奈穂美（やすだ なおみ）
（２歳・川北つくし保育園）

徳永拓朗（とくなが たくろう）
（４歳・川北つくし保育園）

みんなの元気をめざす「健康増進法」が5月1日から施行!!

健康いち番

加瀬保健師

■突然ですが、問題です。

問題一 二〇二〇年に高齢者(六十五歳以上)は何人に一人?
①四人に一人 ②五人に一人

問題二 平均寿命は男性七十八歳、女性八十五歳である。
①正しい ②間違い

問題三 健康寿命は男性七十一歳、女性七十六歳である。
①正しい ②間違い

問題四 三大生活習慣病(ガン・心臓病・脳卒中)で亡くなる人は全体の何割を占めるか?
①四割 ②六割

＊健康寿命＝寝たきりや痴呆ではなく健康に過ごせる期間

●このままだと二十一世紀は病気と介護負担の社会!

問題の答えはお分かりになりましたでしょうか?

日本は平均寿命、健康寿命とも世界一の長寿国です。しかしこの二つの寿命には七~九年の開きがあり、この期間は痴呆や寝たきりなどで過ごすことにもなります。

このまま高齢化が進み、生活習慣病になる方も増えていくと、二十一世紀は病気と介護負担の社会になります。また、医療費も増えてくるため経済的にも皆さんの負担が大きくなります。そのため健康増進や病気の予防を図るために適切な生活習慣、受動喫煙防止を大きな柱として作られたのが「健康増進法」です。

●国民みんなの元気をめざす「健康増進法」

五月以降、新聞で「〇〇の食堂あすから禁煙」「空気もおいしい店」など「分煙」「禁煙」などの文字を目にすることがあったかと思います。これは五月一日に施行された健康増進法に基づく受動喫煙(他人のタバコの煙を吸わされること)防止の取り組みについてのことです。

タバコを吸う人以外にも、多数の人が利用する施設(学校、体育館、病院、集会場、事務所、遊技場、官公庁施設、飲食店など)の管理者は受動喫煙防止に取組むように努めることを義務付けられました。

このように健康増進法の一番の関心は受動喫煙防止に向けられていますが、「健康で長寿な日本をめざす!」ための法律です。

この法律によって、皆さんや市町村にもそれぞれ次のような責任と義務ができました。

▽**国民は**…健康な生活習慣の重要性について、関心と理解を深め、自らの健康増進に務めなければならない。

▽**健康増進事業実施者(保険者・事業者・学校など)は**…国民が責務を果たすために必要な事業を積極的に推進しなければならない。

▽**国、地方公共団体は**…国民や健康増進事業実施者が責務を果たすためのサポート役。

●標津町の取り組み

町ではこの法律ができる前から、町民の皆さんが健康づくりに対して受身ではなく、自分のこととして生活習慣を見直したり、健診を受けたりできるようにと考えてきました。

その結果、平成十四年度から町内会活動の中に健康づくり活動を組み入れていただくために、町内会役員としての「健康づくり推進員」の配置に理解・協力を求めてきました。その活動を実施する際に、保健師、栄養士、歯科衛生士を活用していただけるようお知らせしています。

《上の問題の答え》

問題一…① **問題二**…①
問題三…① **問題四**…②

BOOK ROOM

今月のおすすめ 新刊

『頭は良くならない』
小浜逸郎著　洋泉社

身も蓋もない書名ですが、読んでも落胆はしません。「頭がいいとはどういうことか」から始まって「ゆとり教育」や「生きる力」についても検証しています。新書版ですのでそんなに時間はかかりません。

『14歳からの哲学―考えるための教科書―』
小池晶子著　トランスビュー

題名から子どもの本と思ってしまいますが、さにあらず。なかなかどうしてじっくり読ませる本なのです。時には立ち止まって「言葉」「自分とは何か」「心はどこにあるか」などについて考えてみるのもいいのではないでしょうか？

今月の特集：さあ、アウトドア

標津にも夏がやってきました。「書を持って、野山に出よう」緑のなかで本を読むもよし、図鑑を持って野山に出るもよし、アウトドアに絶好の季節、おおいに楽しみたいものです。今月は夏のアウトドアに関する本を特集します。

《小説・エッセイ》
- 「この国のアルバム」倉本　聡著　理論社
- 「百人一酒」俵　万智著　文藝春秋社
- 「輝ける日々」ダニエル・スティール著　朝日出版社
- 「コンタクト・ゾーン」篠田節子著　毎日新聞社
- 「キャッチャー・イン・ザ・ライ」J・D・サリンジャー著　白水社
- 「生誕祭　上下」馳　星周著　文藝春秋社
- 「八重子のハミング」陽　信孝著　小学館

《そ　の　他》
- 「いま、抗暴のとき」辺見　庸著　毎日新聞社
- 「プロ野球　人生の選択」二宮清純著　廣済堂
- 「ランニングで頭がよくなる」久保田競著　ＫＫベストセラーズ
- 「不惑のはずが」酒井良二著　早稲田出版

★図書館　☎ 2-2074

7月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	9日(水) 24日(木)	2日(水) 16日(水) 30日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	7日(月) 22日(火)	14日(月) 28日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	8日(火) 23日(水)	1日(火) 15日(火) 29日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆7月のスポーツ☆

■1日～17日の毎週火・木曜日
めだか水泳教室
〔15時30分～町営プール〕

■2日(水)
第18回体協会長杯ゲートボール大会
〔9時～ひまわり〕

■2日(水)・4日(金)
夜の水中ウオーキング
〔19時～町営プール〕

■2日(水)・9日(水)・16日(水)
スポーツ体験ふれあい事業
〔15時30分～町営プール〕

■5日(土)・12日(土)・19日(土)
スポーツ体験ふれあい事業
〔13時30分～町営プール〕

■2日～18日の毎週水・金曜日
川北わんぱく塾
〔15時30分～川北体育館〕

■5日(土)
管内中体連バレーボール大会
〔9時～総合体育館〕
体協まつり・ビールパーティー
〔18時～あすぱる〕

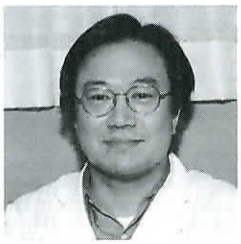
■6日(日)
第12回町民ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕
第9回国際パークゴルフ協会根室支部チャンピオン大会
〔8時30分～川北パークゴルフ場〕
東日本野球大会2部町内予選会
〔8時～町営球場〕
釧根地区少林寺拳法昇級審査会
〔9時30分～鳩ヶ丘体育館〕

■12日(土)
完全学校週5日制開放
〔9時～総合体育館〕

■13日(日)
東日本野球大会1部支部大会
〔8時～町営球場〕

■27日(日)
太陽グループ杯少年新人戦野球大会町内予選
〔10時～町営球場〕
町長杯パークゴルフ大会
〔9時～川北パークゴルフ場〕

こんにちは 標津病院です



標津病院
大野高義 院長

「喫煙と健康障害―肺の病気との関係について」

「タバコはからだに良くない」という事は、愛煙家の皆さんも漠然と感じていらっしゃるのではないでしょうか。

今回は、主に喫煙と肺の病気の関係についてご説明いたします。

タバコが原因となる肺の病気といえば、まず「肺がん」を想像される事でしょう。

事実、タバコの煙の中には、二百種類以上の発ガンに関連した物質が含まれており、非喫煙者と比べて肺がんにかかる確率は約五倍になるといわれています。また、喉のがん（喉頭がん）は三倍、食道がんは二倍、その他、胃がん、すい臓がん、膀胱がんなど、関連性に差はありますが、体のがんの発生に関係している事がわかっています。

その他、喫煙が原因になる病気としては、気管支の粘膜が腫れて、頑固な咳や痰が続く「慢性気管支炎」や、血液に空気中の酸素を取り込む肺胞と呼ばれる部分が壊されるために、体を動かした後に息切れがおこる「肺気腫」という病気があります。

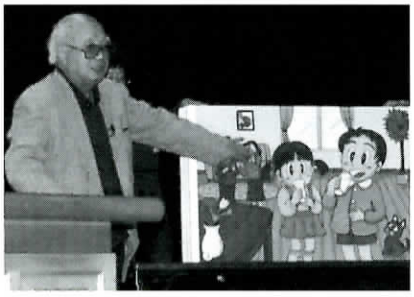
これらの病気は「慢性閉塞性肺疾患」と呼ばれていますが、ひとたび病状が進んでしまうと、日常生活に大きな支障が出るために、発症後の生活の質が著しく悪くなってしまいます。

いずれの病気も、それ以上の病状の悪化を防ぐためには、まず禁煙することがもっとも重要になります。

健康増進法が制定され、公共の場所での喫煙が制限されるようになりました。禁煙に「手遅れ」はありません。これを機会に、ご自身とご家族のために禁煙に挑戦してみてはいかがでしょうか。

友好都市・青森県 大畑町では…㊼

「大人のための朗読の会」 “読書”とは善い人になるためのもの



5月28日、青森県立図書館・青森近代文学館長の鈴木健二氏による「お話と朗読の会」が中央公民館で開催されました。

最近、本を読まなくなった人が増えてきており、本を読まなくなった率と青少年の非行・家庭内暴力の発生率が比例しているそうです。

この日は、講演のほか鈴木館長が作成した紙芝居が行われました。

読書は、知恵や徳育の発達に非常に有効であるという研究結果も出ていることから、鈴木館長はもっと県民に本を読んでもらうために本の読み聞かせ活動をこれからも続けていくそうです。

7月の健康相談日程

●乳幼児相談
25日(金)
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談
25日(金)
〔9時～10時／ひまわり〕
※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2－1515）まで。

町長の動静（5月21日～6月20日）

【5月21日】北方領土復帰期成同盟理事会（札幌市）
【5月22日】標津川流域懇談会
【5月23日】標津町農業後継者対策協議会総会、国保運営協議会、町民祭り水・キラリ実行委員会
【5月24日】亀井農林水産大臣との懇談会・北村直人セミナー（釧路市）
【5月26日】第4回臨時町議会
【5月27日】道道路整備促進協会通常総会ほか（札幌市）
【5月28日】北海道町村会定期総会ほか（札幌市）
【5月29日】道市町村職員共済組合役員打合せ会（札幌市）
【6月3日】標津町農業協同組合通常総会
【6月4日】標津町植樹祭
【6月9日】根室中標津空港ビル㈱株主総会（中標津町）
【6月13日】根室北部衛生組合議会
【6月18～19日】第2回標津町議会定例会
〈以上主なもの〉

観光

「くしろ・ねむろスタンプラリー」実施しています

根室観光連盟では、現在くしろ圏観光キャンペーン推進協議会との共催により「くしろ・ねむろスタンプラリー」を実施しています。

根室・釧路地方の観光スポット59カ所のうち6カ所をまわりミニガイドの台紙にスタンプを集めて応募すると、抽選ですてきな賞品が当たります。

■応募期間

6月1日～10月31日

■本町のミニガイド設置箇所（観光スポット）

・サーモン科学館
・ポー川史跡自然公園
・北方領土館
・生涯学習センター「あすぱる」

★応募・お問い合わせは、根室観光連盟事務局（根室支庁商工労働観光課内☎0153-29-2427）まで。

「チャレンジ体験観光inくしろ・ねむろ」実施中

根室・釧路支庁では、両管内の自然を中心とした体験観光メニューに多くの方にチャレンジしていただこうと「チャレンジ体験観光inくしろ・ねむろ」を実施しています。

両管内54カ所にある体験メニューのうち1つを体験し、所定の応募用紙にスタンプを押して応募すると、抽選で40名にすてきな賞品が当たります。

■実施期間

7月1日～10月31日

※応募用紙つきのリーフレットは、各ポイントや各観光案内所などに設置しています。

※体験メニューの内容は、リーフレットに掲載しています。

★応募・お問い合わせは、根室支庁商工労働観光課（☎0153-24-5619）まで。

防災

花火を行う際は十分ご注意を

■周囲に燃えやすいものがないことを確認し、広い空き地などで行ってください。

■あらかじめ消火用のバケツなどに水を入れておき、使用後の花火は水につけて完全に消火する習慣をつけてください。

■子供だけの花火は危険ですので、必ず大人が付き添ってください。

■花火をする前に、遊び方の説明書をよく読み、花火の特徴を十分理解したうえで行ってください。

―標津消防署―

郵便局

「かもめーる」発売中

郵便局では、今年も暑中見舞いはがき「かもめーる」（くじ付き）を販売しています。

金額は1枚50円で、今年は、無地、インクジェット用のほか、「夏の海」「夏の花」「ひまわり」があります。

売切れになる場合がありますので、お早めにお買い求めください。

また、北海道限定として、ドラマで人気の「北の国から」の絵はがき（5枚組350円）も好評発売中です。

★申込み・お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

し尿

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

8月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申し込みください。

■汲み取り実施地域

伊茶仁、忠類、浜古多糠、薫別、崎無異

■申込期限　7月25日(金)まで

★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

戸籍の窓口から

（5月11日～6月10日届出分）

■ご結婚おめでとう

梨本　薫さん・佐藤　一枝さん（栄　町）
渡辺　建一さん・荏原　真実さん（桜木町）
本間　廣徳さん・市川　美雪さん（伊茶仁）

■お誕生おめでとう

〈保護者〉
山本　蒼紫（あおし）くん　（東茶志骨）　憲次朗・千　晶

■おくやみ申し上げます

西口	ひで子さん	（弥栄町）	89歳
柴田	國夫さん	（望ヶ丘町）	81歳
素利	冨恵さん	（東川北）	77歳
田中	恵子さん	（寿町）	50歳
山崎	繁良さん	（西川北）	84歳
村上	正平さん	（西北標津）	74歳
西田	茂さん	（北川北）	51歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●財政調整基金として町に――

・念法真教教団

●体育文化振興基金として町に――

・標津海洋少年団

●町社会福祉協議会に――

・素利　義春さん　・聖友標津支所
・山崎　勇さん

●町身体障害者福祉協会に――

・柴田　信子さん

●標津病院に――

・中野　健一さん　・進藤　禮子さん
・川畑　カツさん　・渡部　初栄さん
・弥生会　・菊池　さゆりさん

●図書館に――

・南　等さん　・菊池　雅さん

●ポー川に――

・上田　正さん
・大竹　潔さん（愛知県）

保健・衛生

食中毒に注意しましょう

食中毒が発生しやすい時期となりました。食中毒予防の原則は、菌を「つけない」「ふやさない」「やっつける」の3つです。この3つの原則を念頭に置き、特に次のことについて注意しましょう。

■手をきちんと洗いましょう。
■調理器具類は常に清潔にしておきましょう。
■生鮮食品は新鮮なものを購入しましょう。
■冷蔵が必要なものは購入後速やかに冷蔵庫に保管しましょう。
■調理器具は食材ごとに使い分けましょう。
■加熱調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。
■食品を室温に長時間置かないようにしましょう。
■貝毒が発生している場合は、二枚貝を採って食べるのは避けましょう。

★お問い合わせは、中標津保健所（☎01537-2-2168）まで。

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、あなたが主人公です

保険料を納めるのが困難なときには…

国民年金の加入期間中には、思いがけない病気やけが、災害、会社の倒産、失業などで経済的に保険料の支払いが困難になる場合があります。

このような場合のために「免除制度」があります。

申請免除は毎年度必要です。1年間分の免除は7月1日から受付けします。免除期間は、7月1日から翌年6月30日までの1年間となります。

●全額免除・半額免除

「全額免除・半額免除」は所得制限がありますが、承認されると申請した月の前月から翌年度の6月まで保険料は免除となります。

●免除が認められると

「全額免除」の場合は保険料の支払いは不要で、その期間は年金の受給資格期間に算入されますが、年金額は3分の1の計算となります。

「半額免除」は、保険料を支払った場合受給資格期間に算入され、年金額は3分の2の計算となります。ただし、半額の保険料を納付しなかった場合は未納期間として取り扱われます。

●法定免除

障害基礎年金を受けている場合や生活保護を受けている期間は法定免除期間とされ、その期間の保険料は免除となります。

また、期間は年金の受給資格期間に算入されますが、年金額は3分の1の計算となります。

●追納制度

免除された期間や学生納付特例期間の保険料は、10年以内であれば、さかのぼって納めることができます。

追納することにより、減額されない年金を受けられますので、余裕ができて保険料を納められるようになったときは、計画的に追納することをお勧めします。

■社会保険事務所相談開設日

▷日時　7月15日(火) 13時～17時
▷場所　中標津経済センター

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当：杉本）まで。

相談

検察審査会をご存じですか

検察審査会法が施行されて今年で55周年を迎えます。「交通事故などの被害にあったのに検察官が事故の加害者を裁判にかけてくれない（不起訴処分）」。このような場合に、その処分の善し悪しを審査する、それが検察審査会制度です。

★相談・お問い合わせは、釧路検察審査会事務局（☎0154-41-4171）まで。

雇用

年齢にかかわらず働ける社会の実現を

平成13年10月に雇用対策法が施行され、「事業主は、募集・採用にあたって年齢制限をしないように努力する義務を負う」こととされています。

中高年齢者の多くは、経験・知識・技能を持っていますが、年齢制限があるため仕事への応募ができず、仕事に対する資質が判断されないでいます。

事業主におかれましては、年齢要件で判断することなく、個々の労働者の適性・能力に着目するなど、応募・採用の機会を増やしましょう。

－北海道労働局－

みんなの掲示板

高速インターネットの利用者募集

NPO・㈱極東情報技術推進センターでは、高速・安価でインターネットを利用でき、電話代も安くなるブロードバンド回線の誘致運動を進めています。現在、200件以上を目標として利用者の申込みを受け付けています。

★申込み・お問い合わせは、㈱極東情報技術推進センター（☎2-4176(テクテクＣＳ内)）、リーフ（☎2-2125）またはhttp://www.shibetsu.netまで。

まちの声…

204

出逢い

韮澤 敦子さん Atsuko Nirasawa
川北（主婦）

生まれも育ちも標津町の私は、小さい頃から外で遊ぶのが大好きでした。私の家は、海と山に囲まれ、自然がいっぱいの環境で育ちました。毎日、友達と釣りをしたり、野イチゴなどを採りにいったり、自転車で走り回ったりと暗くなるまでいつも遊んでいました。

高校卒業後、札幌の学校へ二年間行きました。住み始めた頃は、憧れの札幌で生活できることがとてもうれしかったのですが、だんだんと標津の海や山そして、おいしい水・空気、食べ物が恋しくなり、離れてはじめて標津の良さを感じたものでした。

短大卒業後、就職のため標津町へ戻り、薫別で七年間過ごしました。薫別では、地域を挙げての運動会やお祭りなど数々の行事を通して地域の方々や子ども達とのふれあいの中で、人のあたたかさや人とのつながりの大切さ、そして自然のすばらしさを肌で感じることができました。

また、趣味であるバレーボールを標津に戻ってから、仲間と一緒にやっていました。みんなと楽しく汗を流し練習をしていると、とてもすがすがしい気持ちになります。その後のジュースも格別においしいんですよ(笑)。毎年町民祭り水キラリで、水中ミニバレーボールに参加させてもらっています。水の中でのミニバレーはまた違った感覚で、とても楽しく今年も楽しみにしています。

四月から川北に住み二カ月が経ちました。たくさんの知り合いや友達が増え、毎日楽しんでいます。これからも色々な行事に参加し、皆さんと交流していきたいと思います。

これまで、多くの人たちと出逢ってきました。出逢いの中から、学んだことや影響されたことがたくさんあります。これからも一つ一つの出逢いを大切に、過ごしていきたいと思います。

◇

▽次の「まちの声」は安達永補さん（南川北）です。

☆標津町民憲章☆

（昭和46年11月3日制定）

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽「水・キラリ」まであと一カ月。皆さんは、町民組織「キラリ社中」のことはご存知だったでしょうか。今月号では、特集としてキラリ社中の方々と座談会を開催。祭りに向けての意気込みや、思いなどを語っていただきました。▽この記事を読んで、町民の皆さんが祭りに関心をもっていただき、来る八月二、三日の祭りに一人でも多くの人が参加し、今まで以上に盛り上がればと思っています。▽今年の「水・キラリ」は、どんなドラマが待っているか。今からカメラの腕がなります(腕前は別にして…)。（H）

▽今月号から広報担当となりました。今後ともよろしくお願いします。▽滋賀県伊吹高校の修学旅行生の体験活動を取材。近年の旅行形態は体験をすることが注目されていますが、自分の修学旅行の時はというと観光地を巡るだけ。取材の中で、修学旅行生たちのいきいきとした表情がとても印象的でした。（A）

8月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日　時　8月5日(火) 13時30分～
■場　所　標津町生涯学習センター
★お問い合わせは、住民課まで。

人のうごき

・人　口	6,288人	(－ 3)
・男	3,078人	(－ 2)
・女	3,210人	(－ 1)
・世帯数	2,372世帯	(－ 3)

◇平成15年6月1日現在
（　）は前月比

町内の交通事故

・人身事故	1件	(2)
・負傷者	1人	(1)
・死亡者	0人	(1)
・物損事故	11件	(89)

◇平成15年5月1日～5月31日まで
（　）は累計

広報しべつ 7
発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課（広報統計担当）
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号 ☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
・広報URL　http://www.shibetsu.org